

京都市市民憲章推進者表彰

今年の推進テーマ

文化の力で日本を元気に（暮らしの中にある日本文化を見つめ直そう）

6月15日、ひと・まち交流館京都で、平成29年度京都市市民憲章推進者表彰式典が行われました。

- 市民憲章(昭和31年5月3日制定)を率先して実行し、毎年の推進テーマと実践目標に基づいて推進活動を行い、特に市民の規範と認められる方々を、毎年表彰しています。
- 今回、山科区からは個人13名、9団体が門川市長から表彰を受けられました。(活動別・順不同)

個人

美化活動

- 河村 富士子さん(山階学区)
- 高橋 眞紀さん(山階学区)
- 三原 里枝さん(山階学区)
- 環境保全活動
- 末國 美智代さん(勸修学区)
- 谷水 美鈴さん(鏡山学区)
- 安心・安全なまちづくり活動
- 奥田 定之さん(勸修学区)
- 中村 隆宣さん(鏡山学区)

パトロール百々

(百々学区)

大塚学区 獣害対策チーム(大塚学区)

● 健康増進活動

キャットハンズ

団体

環境保全活動

鏡山環境美化(鏡山学区)

● 安心・安全なまちづくり活動

山科駅前セーフティネット(安来学区)

伝統文化

やましなを語りつぐ会

ふるさとの良さを活かしたまちづくりを進める会

車石・車道研究会

観光関係

山科疏水な花ボランテアグループ(安来学区)

(順不同)

問い合わせ先/区まちづくり推進担当(☎592-3088)



第41回山科区民壮年ソフトボール大会

区民壮年ソフトボール大会

5月21日に第41回山科区民壮年ソフトボール大会が勤修寺公園グラウンドで開催されました。区内13学区全ての体育振興会チームが出場し、熱戦が繰り広げられました。

優勝した山階南体育振興会チームは7月23日(日)(雨天時7月30日(日))に岩倉東公園グラウンドで行われる京都市大会に山科区代表として出場されます。

- 優勝 山階南 体育振興会チーム
- 準優勝 鏡山 体育振興会チーム
- 三位 百々 体育振興会チーム
- 三位 陵ヶ岡 体育振興会チーム

昨年度、市大会の頂点に輝いた山階南体育振興会チームが3連覇を達成!



● 問い合わせ先 / 区まちづくり推進担当(☎592-3088)

「山科区2万人まち美化作戦」

ご参加いただきありがとうございました!

この取組は、平成15年度から、毎年、環境月間である6月の第一日曜日に実施されています。今年度も、各学区自治連合会、各種団体、企業などから参加していただき、当日は、多くの区民の皆様が区内全域で清掃活動に汗を流してくださいました。

活動中には、放置自転車や不法投棄された電化製品なども見つかりました。

水と緑に彩られた美しい山科を守るため、日ごろから、まちの美化やごみの減量、資源の再使用などを心がけましょう。

● 問い合わせ先 / 区まちづくり推進担当(☎592-3088)



山科がピカピカに! 約19トンのごみが集まりました!!!



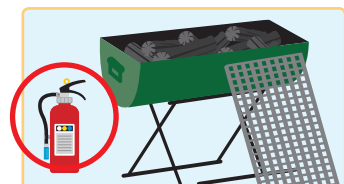
模擬店や露店開設時の注意事項について

夏祭りなどの多数の方が集まる催しにおいて、火気器具を使用される際は、「消防署への露店開設の届出」(※)と「消火器の準備」が必要です。

規模の大小に関わらず、火気器具を使用される場合は、必ず消火器などの消火器具を準備しましょう。

※ご近所同士で行うバーベキューや町内会単位での地藏盆など、参加者が個人的なつながりにとどまるか、相互に面識がある場合は、届出の必要はありません。

● 問い合わせ先 / 山科消防署(☎592-9755)



地域の方の活動を紹介します

思いが詰まった水車が完成

牛尾山法厳寺へ向かうハイキングコースの道沿いに、美しい水車が完成しました。

作ったのは山科区小山西御坊ノ内町に住む山口昌子さん。昔、家にあった思い出の水車をどうしても復活させたいと、自宅前の山科川の護岸整備に来ていた造園家の芝田さんに相談。

「工事に来ていたときに、山口さんはいつも家でお茶を出してくれました。そんな縁から、知人の宮大工である橋元さんとも協力しながら作り始めました。思った以上に良いものができてよかったです」と芝田さんは話してくれました。

水車が完成したのは今年の4月。芝田さんが趣向を凝らした美しい庭園に囲まれた水車小屋の内部では、精米用の杵(きね)が石臼を打つコトン、コトンという音がリズムを刻み、不思議と心が落ち着きます。釘などを一切使わず木材だけ



水車を作った山口さん(左)と芝田さん(右)



完成した水車



● 問い合わせ先 / 区総務・防災担当(☎592-3066)

で組み上げた水車は、宮大工の橋元さんが一から工法を学んで作った努力の結晶。「本当にいい人たちに巡り会えた」と、山口さんも嬉しそうでした。ベンチが置かれた居心地のよい小屋は、近隣住民の憩いの場にもなっているそうです。

地元の小学校の子ども達も見学にくるといってこの水車について、山口さんは子どもたちに昔の日本の生活、文化を見て、知って感じてほしい。そして次の世代に伝えていきたい」と、思いを語ってくださいました。

※見学の際は、杵(きね)等の稼働部分に、手などを挟まないようご注意ください。